

# 特集 大人も子どもも甲状腺エコー検査を受けましょう!



ふくしま共同診療所のエコー検査後、甲状腺手術

## 甘く考えていた甲状腺がん健診

福島市在住 大越 良二

2014年10月、ふくしま共同診療所の受付で甲状腺エコー検査をためらっていた私に、火曜日の担当医で整形外科医でもある杉井吉彦先生から「受けな！内臓もみんな見てやるから」と声をかけられなかったら、私の体はもっと大変な状態になっていたにちがいありません。

最初のエコー検査で、甲状腺左葉に10ミリの結節が見つかりました。その3か月後も自覚症状は皆無でしたが検査の結果は「やはり形が悪い」との診断でした。県立医大に紹介してもらい慎重に検査を重ねて、辛い転移は見つかりませんでした。昨年12月に13ミリの悪性結節のある甲状腺をすべて摘出する手術を受けたのでした。

福島市に住み続けて27年。これまで市民健診さえ受診せず、医療機関には持病の痛風による年1回くらいの通院程度で、風邪も市販薬で済ませられる体でした。被曝による健康障害は様々な形で現れると聞いていましたが、まさか自分がという思いでした。

子どもたちに甲状腺がんが多発している中で、大人だって被ばくのダメージを受け続けている事を忘れてはならないと思うのです。「話したら差別されるよ」と甲状腺がんの子供たちにささやかれて数年。口にする事だけでなく多発への対応の道さえ閉ざされようとしています。私は黙することを選ばず反対の道を選びました。皆に相談し、報告し、自分の病状のことを広げてきました。一人で眠れぬ夜もありましたが、おかげさまで今は多くの人から励ましをもらい勇気と力を頂いています。ぜひ甲状腺のエコー検査を受診されることをおすすめします。

※1/18韓日シンポジウムでもアピールしました

## 甲状腺とは？

甲状腺は首の前側、のどほとけの下にあります。

たて4cm、重さ18gくらいの小さな臓器で、蝶が羽をひろげたような形をしています。全身の新陳代謝や成長の促進のために欠かせないホルモンを作り分泌しています。



腫れてくると手で触ることができ、首を見ただけで腫れているのがわかります。また、甲状腺ホルモンは多すぎても少なすぎても体調が悪くなってしまいます。

### <主な甲状腺の異常>

- 甲状腺ホルモンが多い状態（バセドウ病など）
- 甲状腺ホルモンが少ない状態（橋本病など）
- 甲状腺に腫瘍ができた状態（良性、悪性）

### <症状>

- 首の前、のど仏の下のあたりが腫れてきた
- 暑がりになり、水をよく飲み、汗をたくさんかく
- イライラしやすくなった、落ち着きがなくなった
- 体が冷え、寒がりになった
- 体が重く、だるく感じるようになった
- 昼間も眠く、居眠りをするようになった
- 月経が不順になった。
- 首にしこりがある など

## 定期的に検査を受けることをお勧めします

お問い合わせ、ご予約はお電話でどうぞ 024-573-9335  
※土曜日は乳腺エコー検査も実施しています

検査日	土	日	月	木	金
午前 9:30-12:30	○♥	○	○	○	○
午後 2:30-6:00	○♥	○	-	-	○

○→甲状腺エコー ♥→乳腺エコー

※土曜日のエコー検査は女性技師が担当します

## 編集後記

避難先でのいじめが問題になっているが、国や県が「安全だから帰還しろ」と言っていることが一番の原因。先日はじめてロボットが入った2号機の中が650シーベルト（数十秒で即死）と報道され専門家が驚いている始末。事故はまったく収束していない。これを安全だと言い張る安倍首相や内堀知事にこそ怒りを向けよう。帰還の強制も住宅補助の打ち切りも絶対反対！（え）

被曝と帰還の反対署名用紙はHPからダウンロードできます。  
<https://www.fukushimacollaborativeclinic.jp/>  
お電話でもお問い合わせ下さい。



## 奪われてたまるか!

### 避難・いのち・子どもの未来

## 3.11反原発福島行動'17

と き：3月11日（土）12時～

と ころ：郡山市 開成山・野外音楽堂

集会後、郡山駅までデモ行進



私も呼びかけています。  
みんなで参加しましょう!

詳細はこちらをチェック!

3.11反原発福島行動ブログ  
<http://fukushimaaction.blog.fc2.com/>



# ふくしま共同診療所 Newsletter



第16号 季刊-冬・春号-

診療時間：9：30-12：30/14：30-18：00

	日	月	火	水	木	金	土
午前	●	●	●	-	●	●	●
午後	●	-	●	-	●	●	●

診療科目：内科/放射線科/循環器科/リウマチ科

〒960-8068

福島市太田町20-7 佐周ビル 1階

TEL:024-573-9335 FAX:024-573-9380

## 布施院長 アピール

## 韓国で福島の実状を訴え

1月18日、韓国の国会議員会館において「原子力発電所と健康、日本・福島と韓国の原発周辺」と題する韓日国際シンポジウムが行われました。韓国反核医師の会と 国会議員有志の共催。韓国反核医師の会のキム・イクチュン東国大教授には、2年前に福島で開催した「3.8被曝・医療 福島シンポジウム」で講演していただきましたが、今回は私と、当診療所の患者の大越良二さんが招かれ参加しました。



左2番目：杉井医師 中央：布施院長 右：大越さん

韓国からは、韓国の原発周辺の甲状腺がんの多発についての報告がされました。私は「福島原発事故後の放射能による健康被害」と題して、福島での小児甲状腺がんの多発と、難病患者や自然死産の増加など放射能による健康被害について話しました。大越さんは「韓国電源公社と闘う仲間たちへ」と題して、自身が甲状腺乳頭がんとなり、昨年末に手術し、再発の不安を抱えながら、国と東京電力によって引き起こされた放射能被害を告発して闘っていることを報告しました。

韓国は昨年、全国で500万人におよぶ人々のデモや労働組合のストライキで、パククネ大統領を職務停止に追い込みました。国会議員やシンポジウム参加者の発言を聞いていると、「春にはパククネ大統領が退陣し、韓国は脱原発へと第一歩を踏み出す」と考えており、

政権交代の熱気が感じられました。日本では、福島原発事故が起こったにも関わらず、原発を再稼働し始めました。原発を止めるには、韓国のように政権を変えること、安倍政権を倒すしかないとあらためて思いました。今年の3.11郡山集会とデモにみんなまで参加しましょう。

当院が中心となって福島県知事あての「被曝と帰還の強制反対署名」を昨年11月からはじめました。

### <要求項目>

1. 被曝の影響を認め、甲状腺検査の全年齢への拡充および、検診・医療の充実を図ることを求めます。
2. 法令で定める一般住民の年間1ミリシーベルトの被曝限度以下になるまで、賠償や支援を続け、帰還を強制しないことを求めます。
3. 「自主避難者」への住宅補助などの保障の継続と拡大を求めます。
4. すべての原発事故被災者に、行政の責任において避難および保養を保障することを求めます。

すでに全国から一万筆を超えて集まっており、1月12日には県に対して第一次分の署名の提出と申し入れを行っています。甲状腺検査縮小も住宅支援の打ち切りも福島県の施策です。安倍政権のすすめる「復興」「オリンピック」に乗っかり、福島の実態を隠そうとする内堀知事に、「きちんと県民に寄り添え」と迫る運動として力強く前進しています。県民が声をあげることが重要です。被曝と帰還の反対署名のご協力をお願いします。

## 第2回 被曝・医療 福島シンポジウム

### 「放射線による健康被害の実状と解明」

■と き：3月12日（日）13時30分～

■と ころ：福島グリーンパレス（2階・瑞光の間）JR福島駅西口徒歩3分

### <パネリスト>

- ・山田 真（子どもたちを放射能から守る全国小児科医ネットワーク、小児科医）
- ・大瀧 慈（広島大学原爆放射線医学科学研究所）
- ・金 益重（韓国反核医師の会運営委員/韓国東国大医学部教授）
- ・布施 幸彦（ふくしま共同診療所院長）

主催：被曝・医療 福島シンポジウム実行委員会（実行委員長 松江寛人）

### <参加費>

- 一般1000円
- 医師2000円
- 学生 500円

※託児あり